

# 育児休業取得しました!!

4月1日から「育児・介護休業法」の改正が予定されており、創和会でも男性の育児休業取得促進を推進してまいります。今回は、出生日から2か月間の育児休業を取得された、しげい病院 リハビリテーション部の熊代 雅文副主任をご紹介します!!



## 取得したいと思ったきっかけは？

長女の出産の際に妻が体調を崩し、私が介護のための休暇を取りました。今回も心配であったので、何かあった時にすぐに対応できるよう育児休暇の申請をしようと思いました。

## 上司や同僚の反応はどうでしたか？

自分が思っていたより否定的な意見はなく、「あなたが育休を取ってくれれば、後からの人が取りやすくなる」や、女性からは「頑張っておさんをサポートしてあげてください」など肯定的な意見が多かったです。

## 育児休業中はどのように過ごされましたか？

コロナ禍なので出産には立ち会えず、妻を病院に送った後は長女と二人で暮らし、家事を行っていました。妻が退院してからも、こども園の送り迎え・買い物・毎晩のごはん等、専業主夫生活を送っていました。また春休みやコロナでのこども園の閉園などもあったので、一緒に公園で遊ぶことが多かったです。

## 育児休業を取得した感想をお聞かせください

2か月ではありましたが、男性は働く中でこのような長い休みを取ることは少ないので、とても貴重な経験となりました。家事の大変さや子供の成長の楽しみなど、仕事をしていては感じる事ができないものばかりで、もう少し長く申請すればよかったと思うばかりです。また復帰時には仕事に慣れるまでが大変であったことを覚えています。女性は1年取られる方が多いので、今後は復帰時のフォローをしっかりしていきたいと思いました。

## これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージを

ぜひ取った方がよいと思います。ただ“休むのではなく、家庭のことをするのが仕事だ”と、自分に言い聞かせていました。育児を少しして、あとは遊ぶという気持ちでは上手くいかないように思います。

また私の場合は二人目の出産の際に取得しましたが、長女と接する時間が仕事をしている時よりも遥かに多くなったため、親子の仲が非常に良くなったように思います。子供が母親ばかりになつて自分との仲が少々気まずい方などは挽回のチャンスではないかと思います。

“自分も育児休業を取ってみたい”とお考えの方は、声を掛けてくれれば体験談など話せますので、よろしくお願いします。

### リハビリテーション部

#### 西濱室長からのメッセージ

役職者である熊代副主任が部署で初めての男性育休を取得してくれました。不在の間も業務が滞らないよう気づかい、また後に取得する職員の相談に乗ってくれるなどロールモデルとして適任であり、感謝しています。また、育休中のほのぼのエピソードを聞いて、こちらも温かい気持ちになることができました。

部署には若い職員も沢山いますので、先輩として子供と密に過ごした育休の経験を活かして、これからも活躍してくれると嬉しいです。